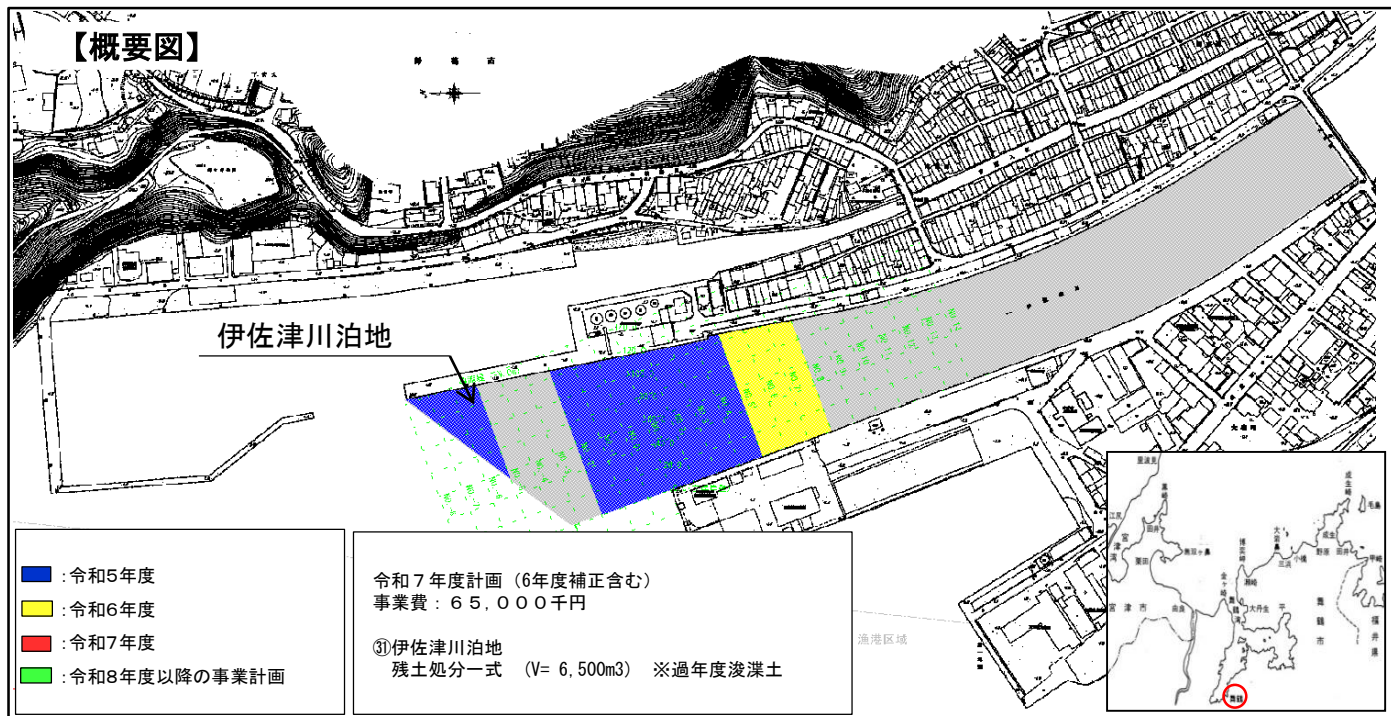


事業名	水産物供給基盤機能保全事業	事業概要	全体計画	①総事業費 1,287,400千円 ②事業目的 漁港施設の機能保全工事 ③事業内容 機能保全計画策定 保全工事の実施 (新漁港岸壁、西岸壁、臨港道路、泊地) ④事業期間 平成24年度～令和8年度				
(フリガナ)地区名	マイヅルギョウコウチク 舞鶴漁港地区 (京都府舞鶴市宇下安久、西吉原、北田辺)			6年度当初までの実績	①総事業費 927,194千円 ②事業内容 機能保全計画策定 保全工事(臨港道路、泊地)			
事業主体	京都府		7年度計画 (6年度補正含む)		①総事業費 65,000千円 ②事業内容 浚渫工事 1式			
現況等	舞鶴漁港は天然の良港として古くから開けた漁港で京都府水産物の流通拠点港として整備されてきたが、整備後長期間を経過し施設の老朽化も目立ち始めている。			負担割合	国:50%,府:30%,市町:20%			
事業効果	漁港施設の機能保全計画の策定を行い、機能保全工事を実施することにより、漁港施設の長寿命化を図りつつ、更新コストの平準化や縮減を図る。		年度区分		年度	R5まで	R6	R7 (R6補正含む)
コスト削減	施設の長寿命化により、更新コストの縮減が期待される。	事業費(千円)		892,194	35,000	65,000	295,206	
環境・景観への配慮	低騒音機械の使用や再生骨材の利用を行うよう配慮した施工計画とする。							



舞鶴漁港全景



平埠頭